

# 新年



明けましておめでとーございませう。

いつも掛川市立総合病院をご愛顧くださいます。心より感謝申し上げます。

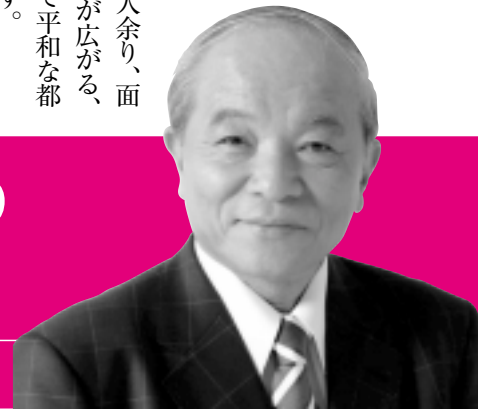
掛川市は、現在人口11万5,000人余り、面積266平方キロ、美しく豊かな自然が広がる、歴史あるまちです。これからも健康で平和な都市に成長することが期待されています。

掛川市立総合病院としても、患者様中心の医療サービスの提供に努め、地域中核病院の使命に応えるとともに、健康安心サロンによる予防医学の充実にも一層努めて参ります。

## 昨年の国内・掛川市

昨年は、なにかと景気回復が言われ続けたものの、依然、庶民にとっては実感の乏しいものとなっております。そのような中、社会保険庁の年金記録問題が社会を大きく揺るがし、夏に行われた参議院選挙では、与野党逆転の「ねじれ国会」を生み出す結果となりました。また、相次ぐ食品の偽装問題など、国民の健康や安心安全の社会を揺るがす出来事が多発しました。平成20年の今年こそは、明るい話題が多い、安心して生活できる社会にしたいものだと思います。

掛川市では、合併によってできた新しい掛川市のもと、私たちが目指す将来都市像と、その



掛川市長 戸塚進也

## 中東遠の中核病院としての役割を果たすために

### 新病院に向けての協議始まる

一方、医療の面では、市は約二年にわたり病院の将来のあり方について、様々な有識者、学識経験者等と共に議論を重ねて参りました。その検討結果を踏まえて、昨年10月2日、隣市の袋井市長との会談を行い、両市議会の了承をいただき、共に病院の生き残りをかけ、統合に向けての協議に入ることを確認しました。それに伴い、11月1日には、統合問題を円滑に進めるための「掛川市・袋井市新病院建設協議準備会事務局」を当市役所3階に設置しました。ここでは、双方の市からスタッフが派遣され、協議会委員の人選や協議すべき項目がまとめられ、新病院像や建設場所、規模、時期などの協議を進めていくこととなります。ここでの協議内容については、市民の皆様にも是非とも注目していただきたいと思います。

実現に向けたまちづくりの指針を示す「第1次掛川市総合計画」が策定され、市民の皆様にお示しすることができました。この中で掛川市の将来像を「海と山と街道がつながり、夢・未来を創るまち」健康・安全・安心・幸せを感じるまち、掛川として、皆様と共に、協働によって地域を支えることを目指しています。市民の皆様へのさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

そのような協議が進められつつも、掛川市立総合病院は、厳しい環境の中にあります。慢性的な医師不足の中、開業医の先生方と病院の機能分担を図るため、一昨年始めた新しい救急医療体制とともに、病診連携を一層推進していきます。

また特産の掛川茶の医療への効用について研究を進める「緑茶医療研究センター」の活動もさらに活発となり、昨年オープンした「睡眠医療センター」も、当院の独自の活動として、たいへん注目されています。今後とも、より高度な医療と「愛365日」を合い言葉に病院職員のチームワークで、地域の皆様から全幅の信頼を寄せられるよう専心努力いたします。ますますのご愛顧、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

### 病院の概況

(11月)

	区分	人数 [名]	
		延べ	前月対比 [名]
患者数	外来	19,804	-1,235
	入院	10,943	250
赤ちゃん誕生	男子	10	-10
	女子	19	3
人間ドック受診	計	29	-7
	1泊2日コース	10	3
	日帰りコース	684	-36
	脳ドック計	32	0
		4	0
		698	-33